

平成22年度 教育行政執行方針



教育行政執行方針を述べる生駒教育長

教育行政の基本姿勢

平成22年第1回南富良野町議会定例会の開会にあたり、教育行政の方針を申し上げ、町議会並びに町民皆様のご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

近年、わが国を取り巻く社会情勢は、国際化、情報化、科学技術の進展、さらには少子高齢化の進行や経済構造の変化、価値観の多様化など、急速かつ複雑に変貌をとげており、教育においてもこれら

を背景に、新しい時代に対応した改革が急速に進められております。

このような社会改革の流れの中で、次代を担う子ども達が、豊かな情操と優れた創造性を持ち、心も身体も健康でたくましい人間に育てていくことが極めて重要であり、更に、町民一人ひとりが心身ともに健康で生きがいのある充実した人生を送るためには、生涯にわたって学び続けて自らを高めることができる環境づくりが求められております。このため、教育委員会とい



下金山小学校・金山小学校の田植え体験の様子

たしましては、その使命と役割を認識し、町民皆様のご理解とご協力をいただきながら、関係機関や団体等の連携により、次代のふるさとを築く子ども達の育成をはじめ、教育文化、スポーツ活動の推進に努めてまいります。

学校教育

学校教育の推進

はじめに、学校教育についてであります。本年度は、改正された学校教育法による、

新学習指導要領の完全移行に向けた措置期間の2年目にあたります。これまでの学習指導要領から引継がれた「生きる力を育む」という大きな理念の実現には、基本的な知識や技能を習得することにより課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力などの能力育成や、学習意欲の向上、学習習慣の確立を図ることを基本とした、学校教育の推進に努めてまいります。

特別支援教育の推進

特別支援教育についてであります。特別支援教育を推進するため設置した南富良野町特別支援教育連絡協議会の充実を図るとともに、児童生徒一人ひとりの困り感に対応した適切な指導の充実を図る支援を行い、各学校や医療・福祉などの関係機関と密接な連携を図り、引き続き特別支援教育の推進に努めてまいります。

豊かな心の育成につきます。では、子ども達は社会性や規範意識が薄く、道徳心が低下していると言われ、多様化する



幾寅小学校のエジンバラ公の森観察学習

るいじめ問題、子どもが直接被害者となる児童虐待の増大などが、大きな社会問題となっており、教師と子ども達の心のふれあいを通じて、善悪の判断や社会のルールを守るといふ基本的な規範意識や倫理観の醸成、さらには公心心や他人への思いやる心など、社会性を育てる教育が求められておりますので、子ども達の心に響く道徳とともに、学校が家庭や地域と連携して、生活体験、自然体験、社会体験、ボランティア活動を進める中で、心豊かな子ども達の育成に努めてまい